発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町二
電話3033番
編集兼発行人 平島敏治

汝に満足を与える者は、たゞ汝のみ。
エマーソン

組合要求は二万五千円 會社回答は二万円

全く不満・重點ストを準備

炭労第十八回臨時大会で要求額二万五千円、対角線交渉を確認し、十一月四日第一回団交で要求書を提出し、七日会社より対角線交渉に応ずる回答を得て第二回団交をもち、要求書内容説明及び交渉委員の確認を行い、十二日第三回団交をもち従来のような最悪な状態にならねば腹をきめないという態度をやめて解決に努力することを申入れ、会社は十五日の第四回団交で二万円（内千七百円は税抜）を回答。組合は不満としてこれを拒否し再考慮を促した。会社は再考慮を約し交渉を打切つた、

小出しでなくズバリ出せ

第三回（十二日）団交は午後三時より本店大会議室で開かれ、前回の団交で額若しくは会社側の考え方について提示を要求してあつたのでその回答を求めたところ、会社側は十五日に額の提示を約束した。

組合 職員の要求書が遅れていましたが、本日提出します。考え方は従来通りです。前回の交渉で鉱員の回答を求めていたので提示して下さい。

会社 慎重に検討をしていますがもうしばらく検討を要しますので十五日は額の提示をしたいと考えているのでそれまでまつて頂きたい。

組合 十五日には額及び内容について回答するか。

会社 そうゆうことです。

組合 職員の要求書提出がおくれているが、内容は従来通りであるから十五日に一緒に回答してもらいたい。

会社 これから検討するので十五日同時回答はむずかしいと思うが、出来るだけ努力したい。

組合 十五日に回答すると言う根拠は何か。

会社 先程申しましたように慎重に検討しているのでそれまで時間をもらいたいということです

組合 十五日には小出しでなく、ずばつと出すと言う意味を含んでいるのか。

会社 そう出来れば良いが、仲々むずかしいんで慎重に検討し努力している。

組合 貴方が出すものを出せばこちらも諒解するんだ。ストライキをやらせるばかりが能じゃないだろう。従来のようなやり方でなく良く考えて回答してもらいたい。

会社 その通りです。ストライキは会社としてもやつてもらいたくない。そのために努力している。

三井の重點スト支部 田川 砂川

【西鉱連電話情報】西鉱連から十五日午後七時三〇分入つた電話連絡によると、第四回団体交渉は午後四時三〇分から行われ、会社側より、

(1)年末手当二万円とし、うち千七百円は団体報奨金として税抜き支給。

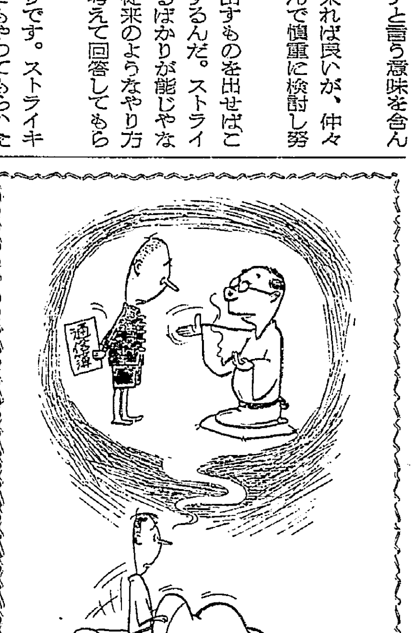
(2)職員については検討する。

との回答があり、組合としてはこれを不満として戦術委員会を開き三井、三菱、北炭、住友、古河の五社重点交渉に入る方針を決めた交渉不調の場合は、二十日すぎをめどに五社のうち一社ないし、二社を選んで無期限重点ストに入ることをきめ、各支部に準備指令を発した。

次の各支部は十六日以降電報指令に基きスト突入の体制を確立する

三井 田川（福岡） 砂川（北）
三菱 大夕張（北） 崎戸（長崎）
北炭 夕張（北） 幌内（北）
住友 赤平（北） 忠隈（福）
古河 目尾（福） 下山田（福）

【編集部註】
〇一社ないし二社というのは一社重点ストライキに欠陥を生じた場合、あるいは戦術強化を必要とする場合は、資本の併合突入もあり得ることを意味する。
〇重点スト突入支部の組合員在籍は「条件集附録」参照のこと。



ある教師の夢 －勤務評定余話－

生産計画は山元で

三鉱連中央委員会で対談

本年度三鉱連の第一回中央委員会は十月二十八日から三日間東京で開かれた。執行部からの報告は前大会で問題になつた職員昇格、永年勤続、スト中の諸休暇取扱いなどの処理や方針が説明され、議案としてけい肺協定、生産計画、租鉱についての提案があり六山の統一行動を確認し三日間の会議を終つた。「みいけ」編集部では中央委員として出席した宮川組合長、彌池次長の両氏に議事摘録にもとづいて質問し、要約して説明してもらつた。

問 灰原事務局長の一般経過報告のなかに職員昇格を本年度一〇〇名（本店八名含）すると会社が申入れているというが、具体的な数字と組合の考え方について。

答 昭和三十二、三十三、三十四年の間で職員の減員が五四〇ばかりある。それを一年に引きなおしその八〇％を補充したいがその中一〇〇名を一般鉱員の昇格から補充し、その数は一〇〇名であると会社は提案している内訳は、三鉱（三四）三作（五）三港（三）田川（一七）山野（八）砂川（一〇）芦別（九）美唄（六）本店（八）となつている。

又組合の態度としては(1)事前協議を確認させる(2)全員補充（即時採用）を前提(3)具体的には各山毎に話合うことを会社に確認させる。

引卒者に組合代表も

問 前大会で永年勤続者表彰の問題で職員同様夫婦同伴で上京旅行、三十五年以上の表彰、記念品料の増額が指摘されていたがどうなつたか。

答 職組の場合三等車利用ということで奥さんの旅費はその面で出ているし、実際運営も三十五年だけでは資格が無く停年真近なものになつており、必ずしも一般的条件として有利とは考えられない。又加えて他社との関係からも早急に解決は困難であり現段階では記念品代の額上げのみとなつた。

勤続		三二年迄	三三年以降
一〇年	以上	七〇〇	八五〇
一五年	〃	一〇〇〇	一二〇〇
二〇年	〃	一五〇〇	一八〇〇
二五年	〃	二五〇〇	三〇〇〇
三〇年	〃	五〇〇〇	六五〇〇

問 夫婦同伴や三十五年以上の問題は放棄するのか。

答 身分制度撤廃とも関連がありこれは漸新的にしか現在出来ていないが、問題は資本主義の基幹となる機構上の闘いであるので三井だけでやれるものでなく他社をもつとつき上げる必要がある。

問 永年勤続者のPR対策は

答 中央としてはその都度可能な範囲での努力をなしている。こんど中央委員会でPR対策として引卒者の中に組合代表を加える事を六山で意志統一した。

六山の統一で対決

問 スト中の諸休暇が各山マチマチであるから統一すべきだという定期大会の意見があつたがどうなつたか。

答 先ず炭労傘下各社の取扱を調べるとともに労働法学者の出席する研究会を炭労法対部を中心に開き理論的な部面の研究を行つた。

この際の態勢は有給休暇は労働者の権利意識をもつと明らかにする必要がある。諸休暇は福利的性質をもつており、雇傭関係が継続していれば事由発生によつて支給されるものであるという考え方で三鉱連としては会社と交渉し

◈有給休暇はスト通告以前であつたら認める。

◈交通遮断、復員、転勤休暇を除くその他の休暇は支給される

以上の提案を認めスト通告時を明確にし、部分スト、時限スト時における取扱はカツトさせない様にする事を会社に確認させる。

『けい肺』配転に利点

問 今回のけい肺協定が以前のと比べてどういう点が良くなつたか。

答 良くなつたのは坑内から坑外へけい肺で配転された人に現行より毎月二千円の手当がプラスされる。現行の配転料は九十日三十日、三十日だが、これが坑内から坑外へ移つた人に二千円増える。

問 現在療養中の者にはどうなるか。

答 この人たちには二千円ずつ毎月支給される。

それに八代、小倉の労災病院に入院している人には、年に二回ほど家族見舞が増えた。

問 共闘の問題ですが、炭労は共闘を起すことになつていたが結果的には起していないこれについて。

答 当初、総評で鉄鋼、全鉱、よう業、石炭これが職業病闘争として九月に開始する予定だつたところがこれが崩れて石炭だけになり、石炭の中でも三井に随いてくるのは住友、北炭、雄別でそれ以外の社はいろんな理由で共闘ができなかつた。態勢が必ずしも十分でなかつた。

三池で十万トン増産

問 生産計画について会社は端的にいつてどれだけ三鉱連に提案しているか。

答 会社は上期の実績が約十八万トン欠損だということで下期にも相当高く組んで増産を希望し三池では約十万トン増産したいという。これが説明の骨子で三池では一二五万トンになる。

問 具体的に三池でこんど会社としてどのような機械化の提案がなされて行くか。

答 中央で具体的な提案はなかつたが、項目的には第一に宮浦のシールド枠（機械水圧カツペ）四山はホーベル採炭機の導入、三川のスライシング（分層二段追かけ払）、三五〇メートル坑道の大型炭車による運搬合理化（五トン炭車）以上が構想として述べられた。具体的には山元で述べることになつている。

問 三池まで含んだ三鉱連の生産計画対策について。

答 一般生産計画は各山元でやるということで三池の一二五万トンに対しては三池でやるということになる。機械化については炭労方針に従つて三鉱連が六山的なものとして意志統一をやる方法として (1)十一月二十日までに三池の山元に具体案を示させる。(2)今月中に中央で機械化対策委員会を招集する。（各山一、中央本部、地方連合会各一）そこで具体案を作りこれを再び山元で大衆討議する。(3)これを三鉱連大会の議案とする。

問 本格的な交渉はそうすると大会後になるか。

答 そう、大会終了後三鉱連機械化対策方針が定つてから中闘を招集する。

高卒採用について

問 租鉱の問題では三池は問題ではないが概略話して頂きたい。

答 三池は関係ないが外の山は鉱区が盗掘されるとか遊休鉱区が多いということで中小企業炭鉱当りから目をつけられているのは事実です。それを国家政策として有休鉱区買上げという政策をどうするかということで租鉱問題が一般に起つている。

問 高校卒採用者の説明があつているが、これは百名の枠外か。

答 高校卒の採用を復活したいというのは一〇〇名の枠外である数別には一〇〇名の一般補充、五〇名の学卒（内大学三、高校二〇）実施するということは三社連と話合いが決定した。

問 こんどの中央委員会でそれ以外で何か報告することがあるか

答 旅費規程と奨学資金を改訂する案を次期大会（十二月）に出す。

前進

中央生産會議を終つて

三十二年度下期の中央生産會議は去る十一月一日より八日まで中央において行われた。

三鉱連が絶えず主張してきた「経営のあなた任せは御免だ」という立場に立つてわれわれは、経営に対する方針の究明と監視要求の立場に立つて終始この会議に臨んだ。まず、下期の生産計画であるが、三井鉱山で三四五万トン、そのうち三池の割当は一二五万トンとなつている。これは上期の計画に対する十万トンの増産であり、上期の実績に対しては十七万トンの増産をしなければこの目標は達成できないことになつている。

勿論、この下期は上期と違つて季節的に出勤率の向上などは考えられるが、その外にどのような具体的な内容をもつてこの目標を完遂するかという点がわれわれの一番注目するところである。

具体的な数字はこんど山元において各切羽毎に検討を行つて、人員配置、切羽計画などを合せ検討して決定することになつている。

なお、以上のような出炭を中心とした営業予算の外に企業資予算として、下期には二一億円も投ずる予定になつている。これは前年同期に比較すると約六億円の投資増加となるわけである。そのうち三池の割当は七億六千八百万円の企業資が組まれている。

これらの企業資の主なる使用方法は港沖竪坑の開さく、ホーベルの購入、三川の二段払い（スライシング）、宮浦の水圧カツペ（シールド枠）、三川の三五〇米坑道の合理化、その外坑道の掘進などがその主なる内容となつている。

われわれがとくに注目をし、こんど十分なる検討を要するのは、いわゆる機械化、合理化のこの部分にあるのである。即ち、炭労の闘争方針でも明らかの様に機械化合理化に対するわれわれの態度と今後の方針がこれらの問題が中心となつて本格化するものである。

三鉱連は炭労の方針に基ずいて直ちに機械化対策委員会を設置し当面三池における機械化、合理化に対する主要なる問題を三鉱連全六山のものとして意志統一を図り炭労の機械化対策委員会の中に持込み、炭労の方針に基いて闘争を展開することになつた。

従つてこれら企業資に組入れられているホーベル、水圧カツペ（シールド枠）、三川の二段払い（スライシング）、三五〇米坑道の合理化、この四つの問題を中心に早急に会社より具体案を提示せしめ、その具体案に基ずき、まず三池の対策を樹立し、三鉱連の機械化対策委員会に臨む事になつた。

三鉱連はこの機械化対策委員会において全六山の意志統一を行つた原案を、大衆討議に図り、来月中旬に行われるであろう三鉱連臨時大会においてこれに対決する方針の決定をみた上で、直ちに会社側と交渉に入る予定になつている

今回の中央生産会議の席上とくに注視すべき点として考えられるものは、社長並びに山本常務が三井鉱山の再建は一にかかつて労使安定にあり、こんどこれを経営方針の基調として努力を図つて行きたいという意味の挨拶がなされた

これはその真意は別として、問題はその労使安定ということをどういう立場から行うかというところに問題があると考える。例えば三池の生産計画が一二五万トンであり日産にして八二二四トンとなつているが、この生産を労使安定が中心となつて組合の諸要求を素直に受け入れ、徒らなストやトラブルを起さないで済むという態度をつねに会社が考え、これを実行するならこの出炭は可能であるかも分らない。しかし些細な要求であつてもこれを拒否してみたり、会社の一方的な職制の権力を利用して職場規律の確立を一方的に図ろうなどという間違つた意見を起すならば、この生産計画は一ぺんに吹飛んでしまうであろう。

われわれも徒らにことを構えるのが目的だとは考えていない。しかし労働組合としては譲れぬ一線がある。この一線を侵害され、或いは独善的な解釈に立つた労務政策を行うならばわれわれは断固これをはね返す。その場合はこの生産目標は机上の空論であつて実際には実らないということをわれわれは考える。

われわれは以上の点を中央生産会議を通じ十分に主張した。また経営者もこれをうなづいた。

しかしこんど経営者が社長の方針をどれだけ下部末端に浸透させ実行するか否かにかかつて生産目標の達成の可否が決定されるといつても過言ではなかろう。われわれは経営方針に対して、絶えず監視要求の立場を取つて進まなければならない。